

病院名 東北大学病院
都道府県名 宮城県

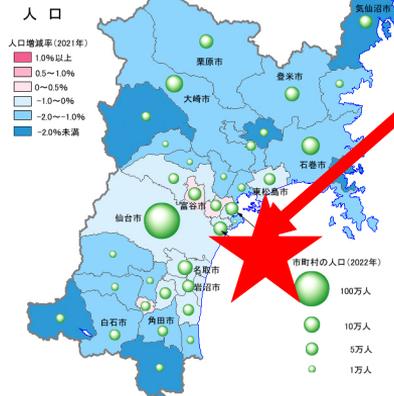
都道府県の情報

都道府県内の総人口
がん死亡者数 (%)
高齢化率

2,264,736人 ※令和5年9月1日現在

6969人 (26.9%) ※令和3年

29.1% ※令和5年3月31日現在



東北大学病院の概要



- ・ 特定機能病院 医科43科 歯科11科
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院
- ・ **がんゲノム医療中核拠点病院**
- ・ **小児がん拠点病院**

- ・ 病床数：1,160床
- ・ 外来化療センター
ベッド数：35床

(ベッド27床、リクライニングチェア7床、小児治療室1室)

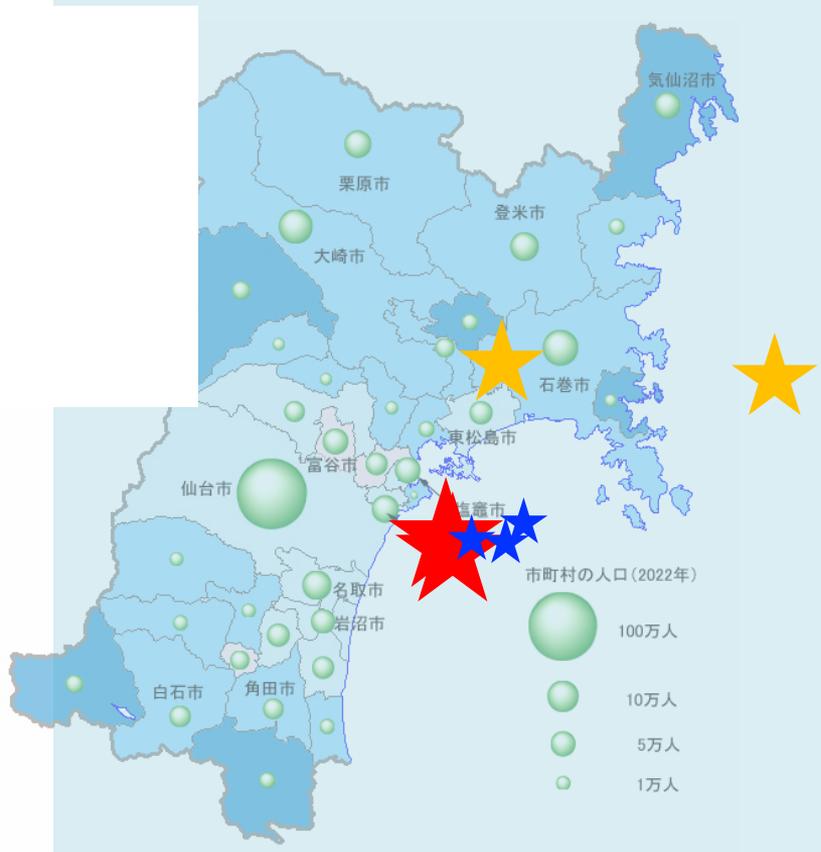
都道府県内のがん患者の状況(令和元年)

がん種	罹患者数	年齢調整罹患率 (人口10万対)	
肺がん	男性 1600人	43.9%	
	女性 815人	19.7%	
大腸がん	男性 1606人	52.4%	
	女性 1251人	32.5%	
胃がん	男性 1904人	52.8%	
	女性 858人	19.1%	
乳がん	女性 1758人	79.5%	
肝臓がん	男性 407人	%	

都道府県内のがん患者の状況(令和4年)

がん種	死亡者数	死亡率 (人口10万対)
肺がん	男性 1048人	95.3%
	女性 424人	36.7%
直腸がん	男性 197人	17.9%
	女性 118人	10.2%
結腸がん	男性 321人	29.2%
	女性 368人	31.8%
胃がん	男性 487人	44.3%
	女性 267人	23.1%
乳がん	273人	12.1%
肝臓がん	男性 272人	24.7%
	女性 116人	10.0%

がん診療連携拠点病院の情報



★ 都道府県がん診療連携拠点病院 2施設
宮城県立がんセンター 383床
東北大学病院 1160床

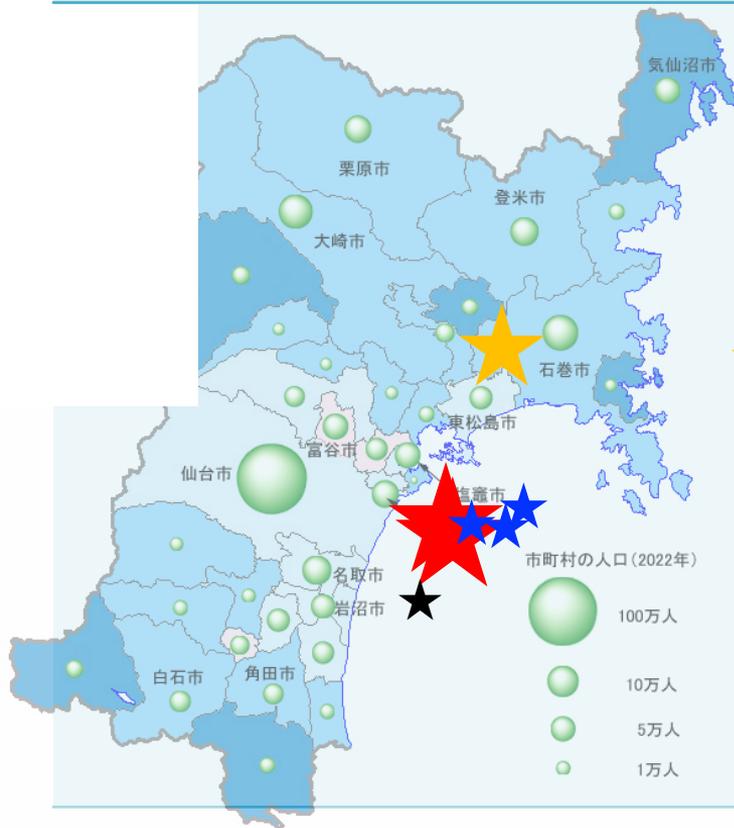
★ 地域がん診療連携拠点病院(高度型) 2施設
大崎市民病院 500床
石巻赤十字病院 460床

★ 地域がん診療連携拠点病院 3施設
仙台医療センター 660床
東北労災病院 548床
東北医科薬科大学病院 600床

病院名 東北大学病院
都道府県名 宮城県

がん診療病院の情報

★地域がん診療病院 1施設
みやぎ県南中核病院 310床



都道府県におけるがん医療の特性

- ・仙台医療圏に人口が集中。
- ・がん年齢調整別死亡率は減少傾向だが全国直近値より高い。
- ・高齢化率は増加。
- ・各癌種の罹患・死亡は全国と同程度。
- ・拠点病院は仙台医療圏に集中。
- ・がんゲノム医療拠点病院は東北で1箇所のみ
- ・がん医療や支援の地域格差・施設間格差
- ・東北6県から医師・看護師・薬剤師を1チームとして、がん薬物療法研修を年1回実施。

(東北大学主催)

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- ・がん医療や支援の地域格差・施設間格差
- ・仙台医療圏に人口、拠点病院が集中
- ・県内のみならず、東北全域からの通院
- ・高齢化、遠方であることを理由に拠点病院での診療を諦めざるを得ないことがある。
- ・拠点病院でのゲノム医療、化学療法件数の増加。
- ・がん薬物療法認定看護師が少ない。

【課題】

- ・拠点病院と各医療圏の病院との連携、最新治療に関する情報共有
- ・がん医療や支援の地域格差・施設間格差を改善（治療連携）
- ・拠点病院の負担軽減（治療連携）
- ・患者、患者家族のがん治療に関する教育、普及、啓発

研修の概要

【タイトル】

宮城県全体で行うirAEマネジメント

【目的】

化学療法副作用に関する知識を共有して、宮城県全体で診療できるよう教育していく。

【対象者・人数】

宮城県内でがん診療に関わる医療従事者（医師、看護師、薬剤師、SW 等）、50名（ハイブリッド）
地域の病院・クリニック、調剤薬局へ案内を送る。

【目標】

一般目標（GIO）

irAEを理解する。

到達目標（SBO）

研修を受けた人がirAEの初期対応とフォローアップができる。

自身の所属先に持ち帰り、周りにも伝達できる。



プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
09:00	09:15	15		オリエンテーション
09:15	09:45	30	腫瘍内科医師講義	治療の効果と有効性について
09:45	10:15	30	薬剤師講義	最新の免疫チェックポイント阻害薬について 一般的な副作用について
10:15	10:25	10	休憩	
10:25	10:45	20	化学療法看護師講義	ケア方法について
10:45	11:05	20	皮膚科医師講義	皮膚症状について
11:05	11:25	20	呼吸器内科医師講義	薬剤性肺炎について
11:25	11:40	15	ソーシャルワーカー講義	医療費や生活面での支援について
11:40	11:45	5	休憩	
11:45	12:25	40	症例提示	
12:25	12:40	15	総評	



研修の評価

【実施評価】

参加者へのアンケート

【結果評価】

研修会の前と後との比較(変化したこと)

・外来や病棟への相談の件数、診察件数の変化

【企画評価】

参加者へのアンケート



セッション1 免疫チェックポイント阻害薬の有効性

日時	○月 ○日(○) 9:15~9:45
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	腫瘍内科医師
用意するもの	特になし

【学習目標】

免疫チェックポイント阻害薬の有効性を理解する

【事前準備】 講義スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 各分野の大まかな知識をつける



セッション2 irAE

日時	○月 ○日(○) 9:45~10:15
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	薬剤部
用意するもの	特になし

【学習目標】
免疫チェックポイント阻害薬の副作用(irAE)を理解する

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 一般的な副作用について情報提供



セッション3 irAEのケア

日時	○月 ○日(○) 10:25~10:45
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	化学療法看護師
用意するもの	特になし

【学習目標】

免疫チェックポイント阻害薬の副作用(irAE)マネジメントを理解する

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 一般的なマネジメントから日常生活での工夫や声のかけ方なども含めて

セッション4 irAEの皮膚症状

日時	○月 ○日(○) 10:25~10:45
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	皮膚科医師
用意するもの	特になし

【学習目標】

免疫チェックポイント阻害薬の副作用(irAE)の皮膚症状に対するマネジメントを知る

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 一般的なマネジメントから日常生活での工夫や声のかけ方なども含めて



セッション5 薬剤性肺炎

日時	○月 ○日(○) 11:05~11:25
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	呼吸器内科医師
用意するもの	特になし

【学習目標】

irAE薬剤性肺炎を学び、そのマネジメント、治療を知る

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 診断のポイント、治療の見通し



セッション5 免疫チェックポイント阻害薬治療患者サポート

日時	○月 ○日(○) 11:25~11:40
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	ソーシャルワーカー
用意するもの	特になし

【学習目標】

免疫チェックポイント阻害剤治療患者さんへの医療費、生活面での支援を実施できる

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 講義

【セッションでの留意点】 支援のタイミング、継続した支援の方法

セッション6 症例提示 ディスカッション

日時	○月 ○日(○) 11:45~12:25
セッティング	スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン
担当	主催者
用意するもの	特になし

【学習目標】 症例に合わせたサポートを実施できる

【事前準備】 スライド

【会場準備】 特になし

【すすめ方】 症例提示、小グループ(各職種、医師、看護師、薬剤師、SW)でのディスカッション

【セッションでの留意点】 本日の講義内容をまとめた資料を見ながら、より具体的なマネジメント、サポートを提案できるようにする